

令和4年6月24日

報道関係者各位



## 成人の約7割が歯周病。あなたは大丈夫？

～「事業所歯科健診」「簡易唾液潜血検査付歯科講習会」実施中～

令和4年6月7日に閣議決定された「骨太の方針 2022」では、「全身の健康と口腔の健康に関する科学的根拠の集積と国民への適切な情報提供、生涯を通じた歯科健診(いわゆる国民皆歯科健診)の具体的な検討」を推進することが記載されました。健康な歯を長持ちさせ、虫歯だけではなく歯周病の早期発見で様々な病気を予防することにより、口腔と全身の健康増進、健康寿命の延伸を目指すものです。

全国健康保険協会(協会けんぽ)福井支部の加入者1人あたりの歯科医療費は、3年連続全国最下位です。一方で、平成28年度国民および県民健康・栄養調査では、1年間に歯科健診を受けた方の割合は、全国平均52.9%に対し、福井県は48.6%です。他県と比べ、定期的に歯科を受診する方が少ないことが、福井支部の歯科医療費が低い要因と考えられます。 [※参考資料【1】参照](#)

「骨太の方針 2022」にさきがけ、簡易唾液潜血検査による歯周病チェックをはじめ、福井県歯科医師会と共同で、3つの事業を実施しています。

厚生労働省の調査では、成人の68.6%が歯周病です。お口の健康管理が全身の健康維持に重要であることを加入者に周知し、定期的な歯科受診の習慣を持っていただくための、以下の事業をご活用ください。

### ①事業所歯科健診

歯科医師が事業所を訪問し、むし歯や歯周病、その他の口腔疾患を診査します。判定結果に基づいた口腔衛生指導により、治療と今後の予防につなげます。

2016年度より事業を開始し、2020年度からは、有所見者(むし歯や歯周病の治療が必要な方、精査が必要な方)の内、健診後2か月以内に歯科受診をしていない方に、受診案内を実施しています。

2021年度は4事業所92名に歯科健診を実施し、有所見率は39.1%でしたが、過去には60%を超えた年度もありました。

2022年度は、すでに4事業所にて実施予定となっており、昨年度以上の実施が見込まれます。

[※実施概要については参考資料【1】及び【2】参照](#)

## ② 歯科講習会(簡易唾液潜血検査付)

歯科医師が事業所を訪問し、互いに悪影響を与える歯周病と糖尿病の負の関係性や、歯周病予防と治療の有効性について説明し、定期的な歯科受診を促します。

2020 年度より事業を開始し、2021 年度からは、歯周病リスクを判定する簡易唾液潜血検査を同時実施しています。また、陽性者(歯周病の疑いがある方)の内、検査後 2 か月以内に歯科受診をしていない方に、受診案内を実施しています。

2021 年度は 11 事業所 205 名に検査を実施し、陽性率は 62.0%でした。

2022 年度はさらに実施件数を増やすため、県内の歯科医院に周知ポスターを掲示しています。

※実施概要については参考資料【1】及び【3】参照

## ③ 糖尿病治療者への歯科受診案内

糖尿病治療者の内、歯科未受診の方を対象として、歯周病と糖尿病の負の関係性を周知する歯科受診案内はがきを送付することで、定期的な歯科受診を促します。

2019 年度より事業を開始し、当初は血糖値が比較的高い方を対象としていましたが、2021 年度からは糖尿病の薬を服用している方へ対象を変更し、はがきの文面やレイアウトも変更して案内した結果、案内した方の歯科受診率は過去最高となりました。

2022 年度は、案内はがきを 6 月末に送付します。また、それでも受診されない方には、11 月末に再度案内を送付する予定です。

なお、2020 年度の案内により歯科を受診された方の内、半数以上の方が翌年度も引き続き、歯科を受診していることから、歯科受診の定着に一定の効果があつたと考えています。

※実施概要については参考資料【4】参照

お口の健康は全身の健康と深い関係があります。最近では、歯周病菌が歯周ポケットの炎症部から血管の中へ入り込み、全身に運ばれることで、様々な病気を引き起こすことが明らかになっています。全身の健康や生活の質を保つためにも、半年に1回は、歯科医院を受診しましょう。

### 【お問い合わせ先】

全国健康保険協会福井支部 企画総務グループ 三浦  
TEL 0776-27-8301  
福井市大手 3-7-1 福井県織協ビル 9 階

協会けんぽ(全国健康保険協会)とは、主に中小企業の従業員とその家族が加入する健康保険です。福井支部の加入者は県民の約 4 割となる約 29 万人、加入事業所は約 16,300 社にのぼります。